



CA92344-0499-02

FUJITSU Server PRIMERGY

TX1310 M1 対応



Windows OS の手動インストール

本書をお読みになる前に

本書の表記

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

| | |
|---|--|
|  | お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。 |
|  | 操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。 |

■キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例:【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。

例:【Ctrl】+【F3】キー、【Shift】+【↑】キーなど

■DVD-ROMドライブの表記について

本書では、DVD-ROMドライブを「DVDドライブ」と表記しています。

■コマンド入力(キー入力)

本文中では、コマンド入力を次のように表記しています。

diskcopy a: a:

↑ ↑

- ↑ の箇所のように文字間隔を空けて表記している部分は、【Space】キーを 1 回押してください。
- 使用する OS が Windows または DOS の場合は、コマンド入力を英大文字、英小文字のどちらで入力してもかまいません。
- お使いの環境によって、「\」が「\」と表示される場合があります。
- DVDドライブのドライブ文字は、お使いの環境によって異なるため、本書では[DVDドライブ]で表記しています。入力の際は、お使いの環境に合わせて、ドライブ文字を入力してください。

[DVDドライブ]:\setup.exe

■画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■他のマニュアルの表記

本文中では、本書以外のマニュアルを『マニュアル名称』と表記しています。

■連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつないで表記しています。

例:「スタート」ボタンをクリックし、「すべてのプログラム(またはプログラム)」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作

・「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

■製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称の略称

| 製品名称 | 本文中の表記 | | |
|--|--------------------------------------|---------------------|----------------|
| Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard | Windows Server 2008 R2 Standard | Windows Server 2008 | Windows Server |
| Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Datacenter | Windows Server 2008 R2 Datacenter | | |
| Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Foundation | Windows Server 2008 R2 Foundation | | |
| Microsoft® Windows Server® 2012 Standard | Windows Server 2012 Standard | Windows Server 2012 | |
| Microsoft® Windows Server® 2012 Enterprise | Windows Server 2012 Enterprise | | |
| Microsoft® Windows Server® 2012 Foundation | Windows Server 2012 Foundation | | |
| Microsoft® Windows Server® 2012 Datacenter | Windows Server 2012 Datacenter | | |
| Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard | Windows Server 2012 R2 Standard | | |
| Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Enterprise | Windows Server 2012 R2 Enterprise | | |
| Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter | Windows Server 2012 R2 Datacenter | | |
| Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Foundation | Windows Server 2012 R2 Foundation | | |
| Microsoft® Windows Server® 2016 Standard | Windows Server 2016 Standard | | |
| Microsoft® Windows Server® 2016 Essentials | Windows Server 2016 Essentials | | |
| Microsoft® Windows Server® 2016 Foundation | Windows Server 2016 Foundation | | |
| Microsoft® Windows Server® 2016 Datacenter | Windows Server 2016 Datacenter | | |
| Microsoft® Windows Storage Server® 2016 Standard | Windows Storage Server 2016 Standard | | |

対応状況については、当社ホームページに随時最新情報を掲載しています。ご確認ください。
(<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/>)

■商標

Microsoft、Windows、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

インテル、Intel は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

Copyright 2017 FUJITSU LIMITED

目次

| | |
|--|-----------|
| 第 1 章 Windows Server 2008 R2 の インストール | 5 |
| 1.1 インストール前の準備 | 6 |
| 1.1.1 ドライバの用意 | 6 |
| 1.1.2 アレイの構成 | 7 |
| 1.1.3 内蔵オプションの取り付け | 7 |
| 1.2 インストール手順 | 8 |
| 第 2 章 Windows Server 2008 R2 Server Core の インストール | 14 |
| 2.1 インストール前の準備 | 15 |
| 2.1.1 ドライバの用意 | 15 |
| 2.1.2 アレイの構成 | 16 |
| 2.1.3 内蔵オプションの取り付け | 16 |
| 2.2 インストール手順 | 17 |
| 第 3 章 Windows Server 2012 のインストール | 23 |
| 3.1 インストール前の準備 | 24 |
| 3.1.1 ドライバの用意 | 24 |
| 3.1.2 アレイの構成 | 25 |
| 3.1.3 内蔵オプションの取り付け | 25 |
| 3.2 インストール手順 | 26 |
| 第 4 章 Windows Server 2012 Server Core の インストール | 32 |
| 4.1 インストール前の準備 | 33 |
| 4.1.1 ドライバの用意 | 33 |
| 4.1.2 アレイの構成 | 34 |
| 4.1.3 内蔵オプションの取り付け | 34 |
| 4.2 インストール手順 | 35 |
| 第 5 章 Windows Server 2016 のインストール | 41 |
| 5.1 インストール前の準備 | 42 |
| 5.1.1 ドライバの用意 | 42 |
| 5.1.2 アレイの構成 | 43 |
| 5.1.3 内蔵オプションの取り付け | 43 |
| 5.2 インストール手順 | 44 |
| 第 6 章 Windows Server 2016 Server core の インストール | 50 |
| 6.1 インストール前の準備 | 51 |
| 6.1.1 ドライバの用意 | 51 |
| 6.1.2 アレイの構成 | 52 |
| 6.1.3 内蔵オプションの取り付け | 52 |
| 6.2 インストール手順 | 53 |

第1章

Windows Server 2008 R2 の インストール

手動で Windows Server 2008 R2 をインストールする
手順を説明します。

1.1 インストール前の準備

1.2 インストール手順

[注] Windows Server 2008 R2 の対応状況について

当社ホームページ(<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/>)に随時最新情報を掲載しておりますので、ご確認ください。

1.1 インストール前の準備

インストールを開始する前に必要な準備について説明します。

1.1.1 ドライバの用意

インストールに必要なドライバをあらかじめ用意します。

- ・ Web (<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>) からダウンロードしてドライバインストール用の媒体を作成してください。
- ・ ハードウェアの構成及び OS により必要なドライバが異なります。ご使用の構成をご確認のうえ、ドライバをご用意ください。

| 対象デバイス | ドライバ |
|---------------------|--|
| チップセットドライバ | PRIMERGY チップセットドライバ for Windows Server |
| オンボード LAN / LAN カード | Onboard/PG-28xx/LND20x/PY-LAxxx LAN Driver & Intel® PROSet |
| オンボードソフトウェア RAID | ソフトウェア RAID Embedded MegaRAID WindowsDriver |
| ディスプレイドライバ | PRIMERGY TX1310 M1 On Board Graphicドライバ for Windows Server |
| USBドライバ | USB 3.0 拡張ドライバ |
| 上記以外の拡張カード | 各拡張カードに対応したドライバ |

※ドライバは随時更新されます。

1.1.2 アレイの構成

アレイ構成で運用を行う場合は、OS をインストールする前に、アレイを構成してください。
使用するアレイコントローラにより、作成方法が異なります。アレイの構成については次のマニュアルをご覧ください。

オンボードソフトウェアRAID (Embedded MegaRAID) をご使用の場合

『Embedded MegaRAID ユーザーズガイド』(マニュアルサーバ(<http://manuals.ts.fujitsu.com/index.php>)の x86 Servers - Expansion Cards - Strage Adapters - LAI SAS / SATA RAID Controllers を参照してください)の「第2章 BIOS Utility (LSI Software RAID Setup Utility)」をご覧ください。

1.1.3 内蔵オプションの取り付け

OS インストールの前に、内蔵オプションを取り付けます。内蔵オプションの取り付け方法については、各機種の内『アップグレード&メンテナンスマニュアル』(マニュアルサーバ(<http://manuals.ts.fujitsu.com/index.php>)の x86 Servers - PRIMERGY Servers のメニューから該当装置を選択)をご覧ください。



OS をインストールするサーバに、次の内蔵／外付けオプション装置がすでに取り付けられている場合は、次の「■OSインストール前の留意事項」を必ずご確認ください。留意事項を確認せずにOSをインストールすると、誤った媒体にOSがインストールされる場合がありますので、ご注意ください。

- ・内蔵データカートリッジドライブユニット

■OS インストール前の留意事項

- ・UEFI モードをご使用の場合

インストール前に BIOS 設定の変更が必要となります。設定方法やサポート状況に関しては、下記リンクをご参照ください。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/>

- ・内蔵データカートリッジドライブユニットをご使用の場合

インストール前に必ずデータカートリッジドライブの接続ケーブルを本体よりはずしてください。インストール完了後接続ケーブルを再度接続し、ご使用ください。

- ・SATA ハードディスクをご使用の場合

オンボード SATA コントローラに 2 本以上の SATA ハードディスクを接続し、アレイ構成をしないで OS インストールする場合には、OS インストールに使用しない SATA ハードディスクは本体よりはずしてください。インストール完了後再度取り付けて、ご使用ください。

1.2 インストール手順

Windows Server 2008 R2 の手動インストール手順について説明します。



- ◆ アレイコントローラとしてオンボードソフトウェア RAID (Embedded MegaRAID) と内蔵 DVD-ROM ドライブを使用して OS の手動インストールを行う場合、ドライブの読み込みのために、USB 接続 DVD-ROM ドライブまたは USB メモリが必要です。

■用意するもの

Windows Server 2008 R2 DVD (インストールディスク)

- あらかじめ用意したドライブを記録した媒体

1 Windows Server 2008 R2 の DVD-ROM を準備します。

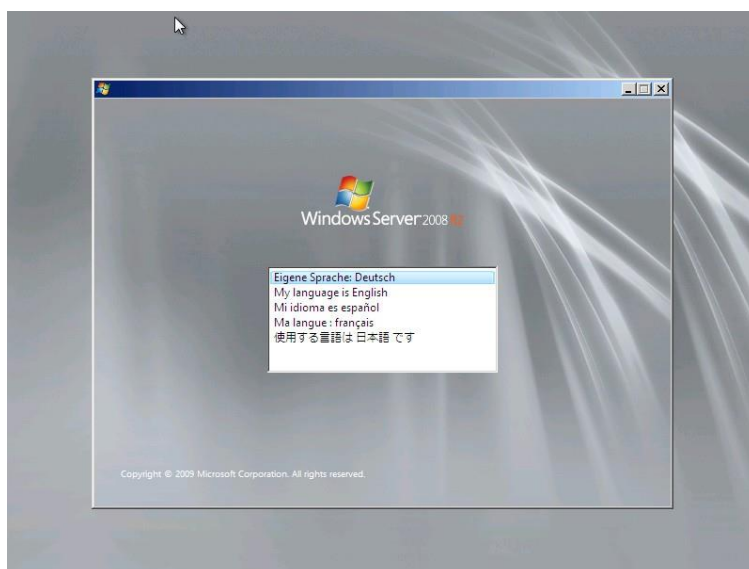
サーバの電源を入れた直後に Windows Server 2008 の DVD-ROM を DVD ドライブにセットします。ハードディスクにアクティブ領域が設定されていると、画面に次のメッセージが表示されます。

Press any key to boot from CD or DVD

メッセージが表示されている間に何かキーを押すことで、DVD-ROM からブートします。

2 Windows Server 2008 R2 インストールのセットアップ画面が表示されます。

セットアップ画面の前に、次のような言語選択画面が表示されます。使用する言語は日本語です。



セットアップ画面に従って各項目を設定した後「次へ」をクリックします。その後、セットアップ画面に従って、インストール作業を続行します。

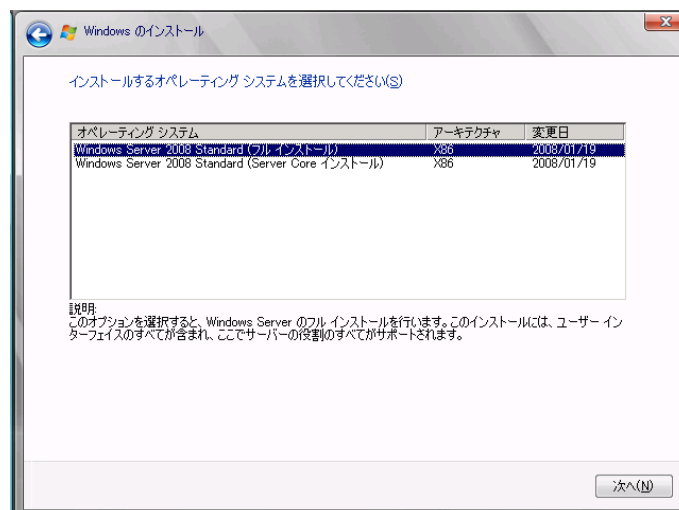


[注] Bit Locker を使用する場合は、インストール時に指定のパーティション構成をする必要があります。
詳しくは、次の当社HP より「Windows サポート & サービス」→「Windows Server® 2008 R2 動作確認情報」→
「Windows Server 2008 R2 の一般的な留意事項」の順にクリックし『BitLocker™ Drive Encryption 機能の留意事
項』をご覧ください。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/>

3 インストールするOperating System を選択します。

次の画面に表示される選択肢から、フルインストールの方を選択します。



4 条項を確認します。

次の画面が表示されたら内容をよく読んでうえで、[条項に同意します]にチェックをつけて、[次へ]をクリックします。



5 インストール先を選択します。

インストール先のドライブによって手順が異なります。

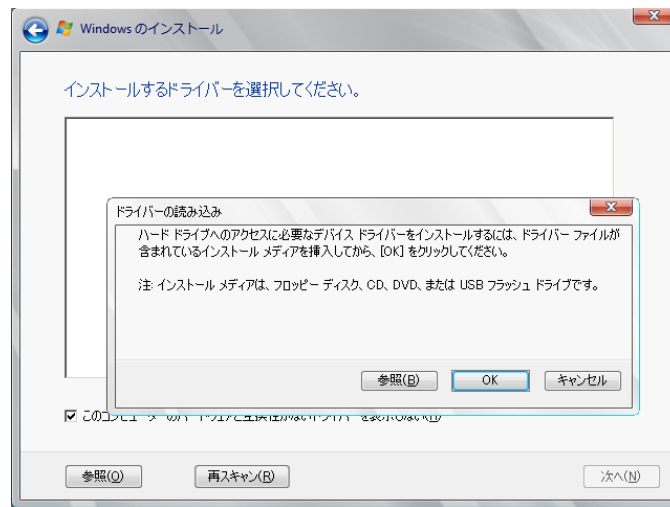
※掲載の画像は一例です。お使いの装置によって異なる場合があります。

画面の指示に従って、操作ください。

- ・ [オンボードソフトウェア RAID \(Embedded MegaRAID\) 使用時 \(P.11\)](#)
- ・ [アレイ未構成使用時 \(P.12\)](#)

オンボードソフトウェアRAID(Embedded MegaRAID)使用時

- ① 次の画面で、ドライバを格納した媒体をセットします。
[参照]をクリックし、インストールドライバの入っているフォルダを選択します。



- ② 対象のドライバが表示されますので選択します。
- ③ [次へ]をクリックし、ドライバをインストールします。
- ④ インストール可能なドライブが表示されますので、ドライブを選んで、[手順6 OS をインストールします。\(P.13\)](#)へ進みます。

アレイ未構成使用時

ドライバのインストールは不要です。インストール先を選択して、[次へ]を押下し、[手順6 OSをインストールします。\(P.13\)](#)へ進みます。



6 OSをインストールします。

セットアッププログラムの指示に従って、インストール作業を続行します。

インストール途中、ドライバが Windows との互換性を検証する Windows ログテストに合格していない旨のメッセージが表示された場合は、[はい]を選択してインストールを続行してください。

7 ドライバをインストールします。

以下の URL から最新のドライバをダウンロードして、そのドライバと同時にダウンロードされる手順書にしたがってドライバをインストールしてください。対象のドライバは「3.1.1 ドライバの用意」を参考にしてください。ドライバは随時更新されます。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>

8 必要な OS のホットフィックスをインストールします。

安定稼働のために、下記 URL の「Windows サポート&サービス」→「Windows Server 2008 R2 動作確認情報」→「Windows Server 2008 R2 対応状況と留意事項」に必要なホットフィックスの情報を掲載しておりますので、ご覧になり、対応してください。なお、ホットフィックスの入手については、マイクロソフトのダウンロードセンターより入手していただくか、SupportDesk 契約を結んでいるお客様は、SupportDesk へお問い合わせください。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/>

これでインストールは終了です。その他のドライバのインストールについては各ドライバのマニュアルを参照してください。

■運用を開始する前に

OS インストール後は、各ツールのマニュアルおよびアレイコントローラのユーザズガイドをご覧になり、必要な設定を行ってください。

ServerView Agents/ServerView Operations Manager、ServerView RAID Manager を使用してサーバ監視/管理を行う場合は以下の Web サイトよりソフトウェアのダウンロードを行い、添付されているドキュメントに従ってインストール、設定を行ってください。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>

サーバ監視については以下の Web サイトをご参照ください。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/svs/>

第2章

Windows Server 2008 R2 Server Core のインストール

手動で Windows Server 2008 R2 Server Core をインストールする手順を説明します。

2.1 インストール前の準備

2.2 インストール手順

[注] Windows Server 2008 R2 の対応状況について

当社ホームページ(<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/>)に随時最新情報を掲載しておりますので、ご確認ください。

2.1 インストール前の準備

インストールを開始する前に必要な準備について説明します。

2.1.1 ドライバの用意

インストールに必要なドライバをあらかじめ用意します。

- ・ Web (<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>) からダウンロードしてドライバインストール用の媒体を作成してください。
- ・ ハードウェアの構成及び OS により必要なドライバが異なります。ご使用の構成をご確認のうえ、ドライバをご用意ください。

| 対象デバイス | ドライバ |
|---------------------|---|
| チップセットドライバ | PRIMERGY チップセットドライバ for Windows Server |
| オンボード LAN / LAN カード | Onboard/PG-28xx/LND20x/PY-LAxxx LAN Driver & Intel® PROSet |
| オンボードソフトウェア RAID | ソフトウェア RAID Embedded MegaRAID WindowsDriver |
| ディスプレイドライバ | PRIMERGY TX1310 M1 On Board Graphic ドライバ for Windows Server |
| USB ドライバ | USB 3.0 拡張ドライバ |
| 上記以外の拡張カード | 各拡張カードに対応したドライバ |

※ドライバは随時更新されます。

2.1.2 アレイの構成

アレイ構成で運用を行う場合は、OS をインストールする前に、アレイを構成してください。
使用するアレイコントローラにより、作成方法が異なります。アレイの構成については次のマニュアルをご覧ください。

オンボードソフトウェアRAID (Embedded MegaRAID) をご使用の場合

『Embedded MegaRAID ユーザーズガイド』(マニュアルサーバ(<http://manuals.ts.fujitsu.com/index.php>)の x86 Servers - Expansion Cards - Strage Adapters - LAI SAS / SATA RAID Controllers を参照してください)の「第 2 章 BIOS Utility (LSI Software RAID Setup Utility)」をご覧ください。

2.1.3 内蔵オプションの取り付け

OS インストールの前に、内蔵オプションを取り付けます。内蔵オプションの取り付け方法については、各機種の内『アップグレード&メンテナンスマニュアル』(マニュアルサーバ(<http://manuals.ts.fujitsu.com/index.php>)の x86 Servers - PRIMERGY Servers のメニューから該当装置を選択)をご覧ください。



OS をインストールするサーバに、次の内蔵／外付けオプション装置がすでに取り付けられている場合は、次の「■OS インストール前の留意事項」を必ずご確認ください。留意事項を確認せずに OS をインストールすると、誤った媒体に OS がインストールされる場合がありますので、ご注意ください。

- ・内蔵データカートリッジドライブユニット

■OS インストール前の留意事項

- ・UEFI モードをご使用の場合

インストール前に BIOS 設定の変更が必要となります。設定方法やサポート状況に関しては、下記リンクをご参照ください。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/>

- ・内蔵データカートリッジドライブユニットをご使用の場合

インストール前に必ずデータカートリッジドライブの接続ケーブルを本体よりはずしてください。インストール完了後接続ケーブルを再度接続し、ご使用ください。

- ・SATA ハードディスクをご使用の場合

オンボード SATA コントローラに 2 本以上の SATA ハードディスクを接続し、アレイ構成をしないで OS インストールする場合には、OS インストールに使用しない SATA ハードディスクは本体よりはずしてください。インストール完了後再度取り付けて、ご使用ください。

2.2 インストール手順

Windows Server 2008 R2 の手動インストール手順について説明します。



- ◆ アレイコントローラとしてオンボードソフトウェア RAID (Embedded MegaRAID) と内蔵 DVD-ROM ドライブを使用して OS の手動インストールを行う場合、ドライブの読み込みのために、USB 接続 DVD-ROM ドライブまたは USB メモリが必要です。

■用意するもの

Windows Server 2008 R2 DVD (インストールディスク)

- あらかじめ用意したドライブを記録した媒体

1 Windows Server 2008 R2 の DVD-ROM を準備します。

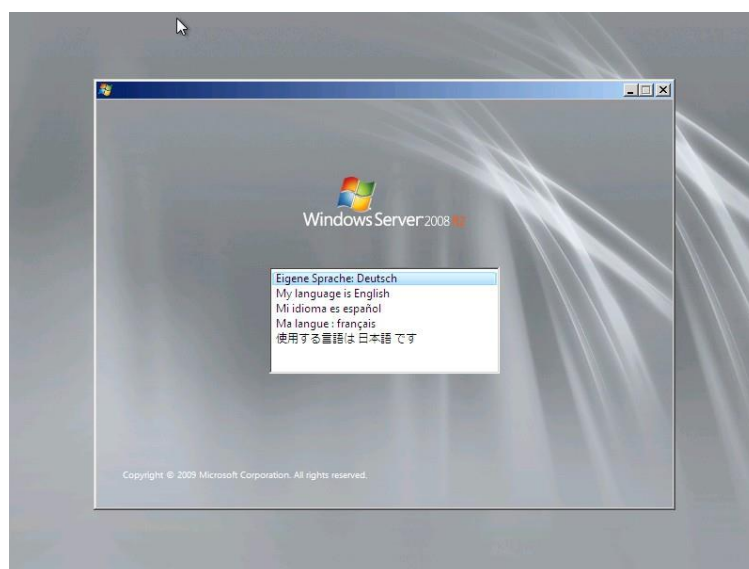
サーバの電源を入れた直後に Windows Server 2008 の DVD-ROM を DVD ドライブにセットします。ハードディスクにアクティブ領域が設定されていると、画面に次のメッセージが表示されます。

Press any key to boot from CD or DVD

メッセージが表示されている間に何かキーを押すことで、DVD-ROM からブートします。

2 Windows Server 2008 R2 インストールのセットアップ画面が表示されます。

セットアップ画面の前に、次のような言語選択画面が表示されます。使用する言語は日本語です。



セットアップ画面に従って各項目を設定した後「次へ」をクリックします。その後、セットアップ画面に従って、インストール作業を続行します。

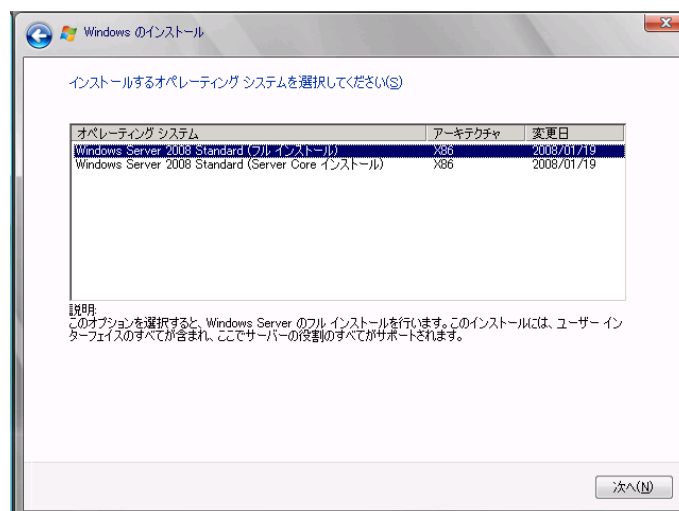


[注] Bit Locker を使用する場合は、インストール時に指定のパーティション構成をする必要があります。
詳しくは、次の当社HP より「Windows サポート & サービス」→「Windows Server® 2008 R2 動作確認情報」→
「Windows Server 2008 R2 の一般的な留意事項」の順にクリックし『BitLocker™ Drive Encryption 機能の留意事
項』をご覧ください。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/>

3 インストールするOperating System を選択します。

次の画面に表示される選択肢から、Server Core を選択します。



4 条項を確認します。

次の画面が表示されたら内容をよく読んでうえで、[条項に同意します]にチェックをつけて、[次へ]をクリックします。



5 インストール先を選択します。

インストール先のドライブによって手順が異なります。

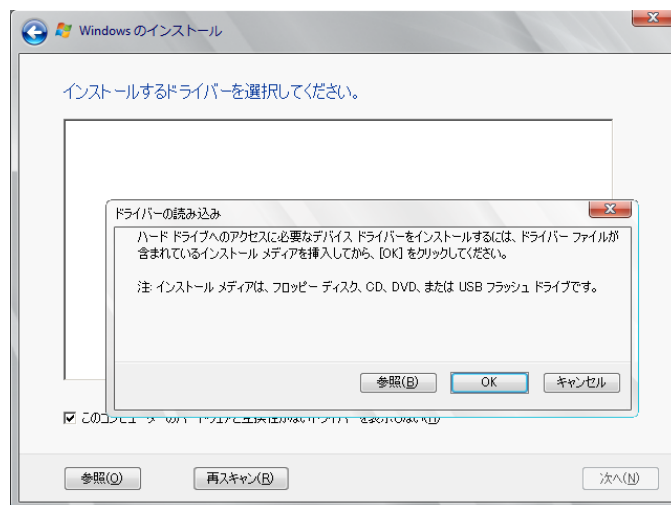
※掲載の画像は一例です。お使いの装置によって異なる場合があります。

画面の指示に従って、操作ください。

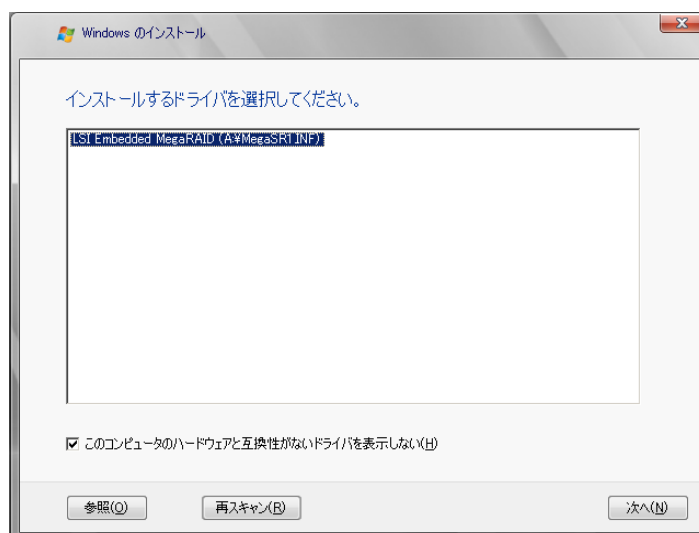
- ・ [オンボードソフトウェア RAID \(Embedded MegaRAID\) 使用時 \(P.21\)](#)
- ・ [アレイ未構成使用時\(P.22\)](#)

オンボードソフトウェアRAID(Embedded MegaRAID)使用時

- ① 次の画面で、ドライバを格納した媒体をセットします。
[参照]をクリックし、インストールドライバの入っているフォルダを選択します。



- ② 対象のドライバが表示されますので選択します。
- ③ [次へ]をクリックし、ドライバをインストールします。
- ④ インストール可能なドライブが表示されますので、ドライブを選んで、[手順 6 OS をインストールします。\(P.22\)](#)へ進みます。



アレイ未構成使用時

ドライバのインストールは不要です。インストール先を選択して、[次へ]を押下し、[手順 6 OS をインストールします。\(P.22\)](#)へ進みます。



6 OSをインストールします。

セットアッププログラムの指示に従って、インストール作業を続行します。

インストール途中、ドライバが Windows との互換性を検証する Windows ログテストに合格していない旨 のメッセージが表示された場合は、[はい]を選択してインストールを続行してください。

7 ドライバをインストールします。

以下の URL から最新のドライバをダウンロードして、そのドライバと同時にダウンロードされる手順書にしたがってドライバをインストールしてください。対象のドライバは「3.1.1 ドライバの用意」を参考にしてください。ドライバは随時更新されます。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>

8 必要な OS のホットフィックスをインストールします。

安定稼動のために、下記 URL の「Windows サポート & サービス」→「Windows Server 2008 R2 動作確認情報」→「Windows Server 2008 R2 対応状況と留意事項」に必要なホットフィックスの情報を掲載しておりますので、ご覧になり、対応してください。なお、ホットフィックスの入手については、マイクロソフト のダウンロードセンターより入手していただくか、SupportDesk 契約を結んでいるお客様は、SupportDesk へお問い合わせください。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/>

これでインストールは終了です。その他のドライバのインストールについては各ドライバのマニュアルを参照してください。

■運用を開始する前に

OS インストール後は、各ツールのマニュアルおよびアレイコントローラのユーザズガイドをご覧になり、必要な設定を行ってください。

ServerView Agents/ServerView Operations Manager、ServerView RAID Manager を使用してサーバ監視/管理を行う場合は以下の Web サイトよりソフトウェアのダウンロードを行い、添付されているドキュメントに従ってインストール、設定を行ってください。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>

サーバ監視については以下の Web サイトをご参照ください。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/svs/>

第3章

Windows Server 2012 のインストール

3

手動で **Windows Server 2012 / 2012 R2** をインストール
する手順を説明します。

3.1 インストール前の準備

3.2 インストール手順

[注] Windows Server 2012 / 2012 R2 の対応状況について

当社ホームページ(<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/>)に随時最新情報を掲載しておりますので、ご確認ください。

3.1 インストール前の準備

インストールを開始する前に必要な準備について説明します。

3.1.1 ドライバの用意

インストールに必要なドライバをあらかじめ用意します。

- ・ Web (<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>) からダウンロードしてドライバインストール用の媒体を作成してください。
- ・ ハードウェアの構成及び OS により必要なドライバが異なります。ご使用の構成をご確認のうえ、ドライバをご用意ください。

| 対象デバイス | ドライバ |
|---------------------|--|
| チップセットドライバ | PRIMERGY チップセットドライバ for Windows Server |
| オンボード LAN / LAN カード | Onboard/PY-LAxxx LAN Driver & Intel ® PROSet |
| オンボードソフトウェア RAID | ソフトウェア RAID Embedded MegaRAID WindowsDriver |
| ディスプレイドライバ | PRIMERGY TX1310 M1 On Board Graphicドライバ for Windows Server |
| 上記以外の拡張カード | 各拡張カードに対応したドライバ |

※ドライバは随時更新されます。

3.1.2 アレイの構成

アレイ構成で運用を行う場合は、OS をインストールする前に、アレイを構成してください。
使用するアレイコントローラにより、作成方法が異なります。アレイの構成については次のマニュアルをご覧ください。

オンボードソフトウェアRAID (Embedded MegaRAID) をご使用の場合

『Embedded MegaRAID ユーザーズガイド』(マニュアルサーバ(<http://manuals.ts.fujitsu.com/index.php>)の x86 Servers - Expansion Cards – Strage Adapters – LAI SAS / SATA RAID Controllers を参照してください)の「第 2 章 BIOS Utility (LSI Software RAID Setup Utility)」をご覧ください。

3.1.3 内蔵オプションの取り付け

OS インストールの前に、内蔵オプションを取り付けます。内蔵オプションの取り付け方法については、各機種の内『アップグレード&メンテナンスマニュアル』(マニュアルサーバ(<http://manuals.ts.fujitsu.com/index.php>)の x86 Servers - PRIMERGY Servers のメニューから該当装置を選択)をご覧ください。



OS をインストールするサーバに、次の内蔵／外付けオプション装置がすでに取り付けられている場合は、次の「■OS インストール前の留意事項」を必ずご確認ください。留意事項を確認せずに OS をインストールすると、誤った媒体に OS がインストールされる場合がありますので、ご注意ください。

- ・内蔵データカートリッジドライブユニット

■OS インストール前の留意事項

- ・UEFI モードをご使用の場合

インストール前に BIOS 設定の変更が必要となります。設定方法やサポート状況に関しては、下記リンクをご参照ください。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/>

- ・内蔵データカートリッジドライブユニットをご使用の場合

インストール前に必ずデータカートリッジドライブの接続ケーブルを本体よりはずしてください。インストール完了後接続ケーブルを再度接続し、ご使用ください。

- ・SATA ハードディスクをご使用の場合

オンボード SATA コントローラに 2 本以上の SATA ハードディスクを接続し、アレイ構成をしないで OS インストールする場合には、OS インストールに使用しない SATA ハードディスクは本体よりはずしてください。インストール完了後再度取り付けて、ご使用ください。

3.2 インストール手順

Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2 の手動インストール手順について説明します。



- ◆ アレイコントローラとしてオンボードソフトウェア RAID (Embedded MegaRAID) と内蔵 DVD-ROM ドライブを使用して OS の手動インストールを行う場合、ドライブの読み込みのために、USB 接続 DVD-ROM ドライブまたは USB メモリが必要です。

■用意するもの

Windows Server 2012 / 2012R2 の DVD (インストールディスク)

- あらかじめ用意したドライブを記録した媒体

1 Windows Server 2012 / 2012R2 の DVD-ROM を準備します。

サーバの電源を入れた直後に Windows Server 2012 / 2012R2 の DVD-ROM を DVD ドライブにセットします。

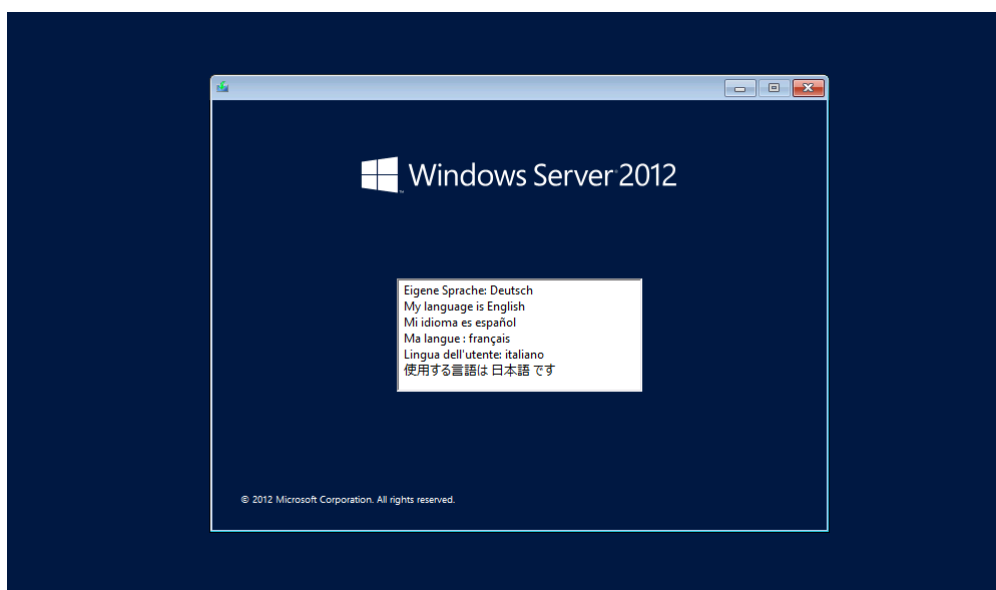
ハードディスクにアクティブ領域が設定されていると、画面に次のメッセージが表示されます。

Press any key to boot from CD or DVD . . .

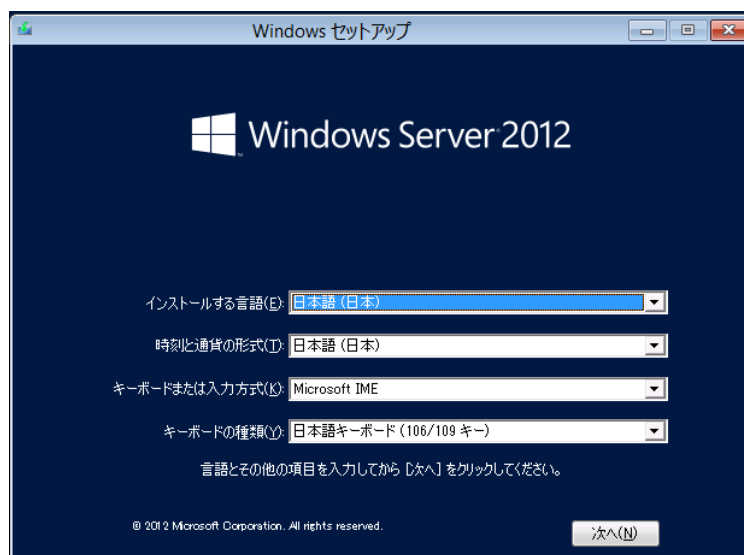
メッセージが表示されている間に何かキーを押すことで、DVD-ROM からブートします。

2 Windows Server 2012 インストールのセットアップ画面が表示されます。

Windows Server 2012 / 2012 R2 の場合は、セットアップ画面の前に、次のような言語選択画面が表示されます。使用する言語は日本語です。



セットアップ画面に従って各項目を設定した後「次へ」をクリックします。その後、セットアップ画面に従って、インストール作業を続行します。

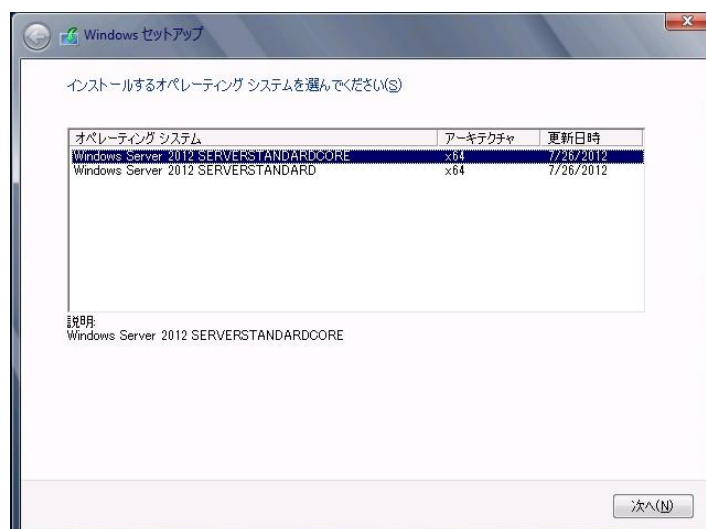


[注] Bit Locker を使用する場合は、インストール時に指定のパーティション構成をする必要があります。
詳しくは、次の当社 HP より「Windows サポート & サービス」→「Windows Server® 2012 動作確認情報」の順にクリックし、『PRIMERGY における BitLocker™ Drive Encryption の注意事項』をご覧ください。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/>

3 インストールするOperating System を選択します。

次の画面から「ServerCore」でないものを選択します。



4 条項を確認します。

次の画面が表示されたら内容をよく読んだうえで、[条項に同意します]にチェックをつけて、[次へ]をクリックします。



5 インストール先を選択します。

インストール先のドライブによって手順が異なります。

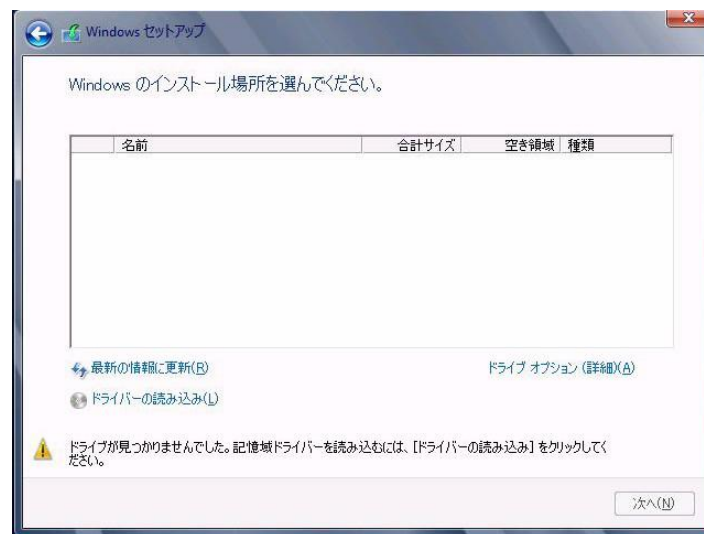
※掲載の画像は一例です。お使いの装置によって異なる場合があります。

画面の指示に従って、操作ください。

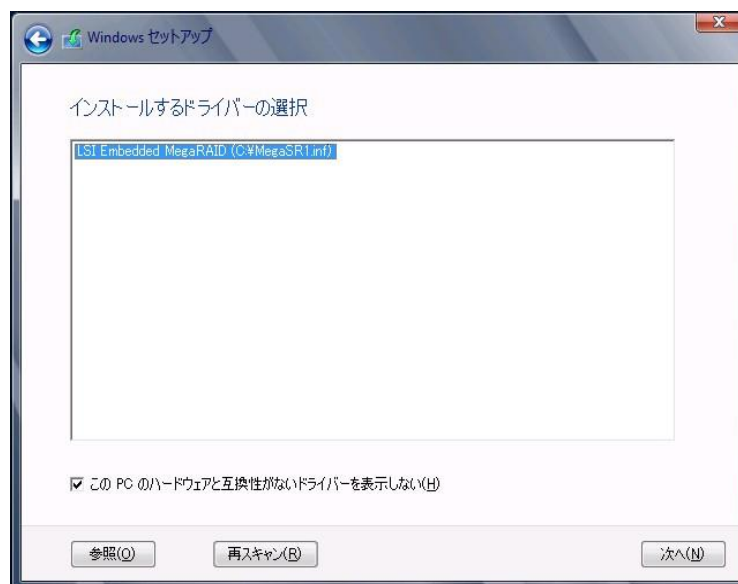
- ・ [オンボードソフトウェア RAID \(Embedded MegaRAID\) 使用時 \(P.29\)](#)
- ・ [アレイ未構成使用時 \(P.30\)](#)

オンボードソフトウェアRAID(Embedded MegaRAID)使用時

- ① 次の画面で、ドライバ媒体をセットします。「ドライバーの読み込み」をクリックし、インストールドライバの入っているフォルダを選択します。



- ② 対象のドライバが表示されますので選択します。
- ③ [次へ]をクリックし、ドライバをインストールします。
- ④ インストール可能なドライバが表示されますので、ドライバを選んで、[手順 6 OS をインストールします。\(P.31\)](#)へ進みます。



アレイ未構成使用時

ドライバのインストールは不要です。インストール先を選択して、[次へ]を押下し、[手順 6 OS をインストールします。\(P.31\)](#)へ進みます。



6 OSをインストールします。

セットアッププログラムの指示に従って、インストール作業を続行します。

インストール途中、ドライバが Windows との互換性を検証する Windows ログテストに合格していない旨のメッセージが表示された場合は、[はい]を選択してインストールを続行してください。

7 ドライバをインストールします。

以下の URL から最新のドライバをダウンロードして、そのドライバと同時にダウンロードされる手順書にしたがってドライバをインストールしてください。対象のドライバは「4.1.1 ドライバの用意」を参考にしてください。ドライバは随時更新されます。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>

8 必要な OS のホットフィックスをインストールします。

安定稼動のために、下記 URL の「Windows サポート & サービス」→「Windows Server 2012 (R2) 動作確認情報」→「Windows Server 2012 (R2) 対応状況」に必要なホットフィックスの情報を掲載しておりますので、ご覧になり、対応してください。なお、ホットフィックスの入手については、マイクロソフトのダウンロードセンターより入手していただくか、SupportDesk 契約を結んでいるお客様は、SupportDesk へお問い合わせください。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/>

これでインストールは終了です。その他のドライバのインストールについては各ドライバのマニュアルを参照してください。

■運用を開始する前に

OS インストール後は、各ツールのマニュアルおよびアレイコントローラのユーザズガイドをご覧になり、必要な設定を行ってください。

ServerView Agents/ServerView Operations Manager、ServerView RAID Manager を使用してサーバ監視/管理を行う場合は以下の Web サイトよりソフトウェアのダウンロードを行い、添付されているドキュメントに従ってインストール、設定を行ってください。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>

サーバ監視については以下の Web サイトをご参照ください。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/svs/>

第4章

Windows Server 2012 Server Core の インストール

4

手動でWindows Server 2012 Server Core / Windows Server 2012 R2 Server Core をインストールする手順を説明します。

4.1 インストール前の準備

4.2 インストール手順

[注] Windows Server 2012 / 2012 R2 の対応状況について

当社ホームページ(<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/>)に随時最新情報を掲載しておりますので、ご確認ください。

4.1 インストール前の準備

インストールを開始する前に必要な準備について説明します。

4.1.1 ドライバの用意

インストールに必要なドライバをあらかじめ用意します。

- ・ Web (<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>) からダウンロードしてドライバインストール用の媒体を作成してください。
- ・ ハードウェアの構成及び OS により必要なドライバが異なります。ご使用の構成をご確認のうえ、ドライバをご用意ください。

| 対象デバイス | ドライバ |
|---------------------|--|
| チップセットドライバ | PRIMERGY チップセットドライバ for Windows Server |
| オンボード LAN / LAN カード | Onboard/PY-LAxxx LAN Driver & Intel ® PROSet |
| オンボードソフトウェア RAID | ソフトウェア RAID Embedded MegaRAID WindowsDriver |
| ディスプレイドライバ | PRIMERGY TX1310 M1 On Board Graphicドライバ for Windows Server |
| 上記以外の拡張カード | 各拡張カードに対応したドライバ |

※ドライバは随時更新されます。

4.1.2 アレイの構成

アレイ構成で運用を行う場合は、OS をインストールする前に、アレイを構成してください。
使用するアレイコントローラにより、作成方法が異なります。アレイの構成については次のマニュアルをご覧ください。

オンボードソフトウェアRAID (Embedded MegaRAID) をご使用の場合

『Embedded MegaRAID ユーザーズガイド』(マニュアルサーバ(<http://manuals.ts.fujitsu.com/index.php>)の x86 Servers - Expansion Cards - Strage Adapters - LAI SAS / SATA RAID Controllers を参照してください)の「第 2 章 BIOS Utility (LSI Software RAID Setup Utility)」をご覧ください。

4.1.3 内蔵オプションの取り付け

OS インストールの前に、内蔵オプションを取り付けます。内蔵オプションの取り付け方法については、各機種の内『アップグレード&メンテナンスマニュアル』(マニュアルサーバ(<http://manuals.ts.fujitsu.com/index.php>)の x86 Servers - PRIMERGY Servers のメニューから該当装置を選択)をご覧ください。



OS をインストールするサーバに、次の内蔵／外付けオプション装置がすでに取り付けられている場合は、次の「■OS インストール前の留意事項」を必ずご確認ください。留意事項を確認せずに OS をインストールすると、誤った媒体に OS がインストールされる場合がありますので、ご注意ください。

- ・内蔵データカートリッジドライブユニット

■OS インストール前の留意事項

- ・ UEFI モードをご使用の場合

インストール前に BIOS 設定の変更が必要となります。設定方法やサポート状況に関しては、下記リンクをご参照ください。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/>

- ・ 内蔵データカートリッジドライブユニットをご使用の場合

インストール前に必ずデータカートリッジドライブの接続ケーブルを本体よりはずしてください。インストール完了後接続ケーブルを再度接続し、ご使用ください。

- ・ SATA ハードディスクをご使用の場合

オンボード SATA コントローラに 2 本以上の SATA ハードディスクを接続し、アレイ構成をしないで OS インストールする場合には、OS インストールに使用しない SATA ハードディスクは本体よりはずしてください。インストール完了後再度取り付けて、ご使用ください。

4.2 インストール手順

Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2 の手動インストール手順について説明します。



- ◆ アレイコントローラとしてオンボードソフトウェア RAID (Embedded MegaRAID) と内蔵 DVD-ROM ドライブを使用して OS の手動インストールを行う場合、ドライブの読み込みのために、USB 接続 DVD-ROM ドライブまたは USB メモリが必要です。

■用意するもの

Windows Server 2012 / 2012R2 の DVD (インストールディスク)

- あらかじめ用意したドライブを記録した媒体

1 Windows Server 2012 / 2012R2 の DVD-ROM を準備します。

サーバの電源を入れた直後に Windows Server 2012 / 2012R2 の DVD-ROM を DVD ドライブにセットします。

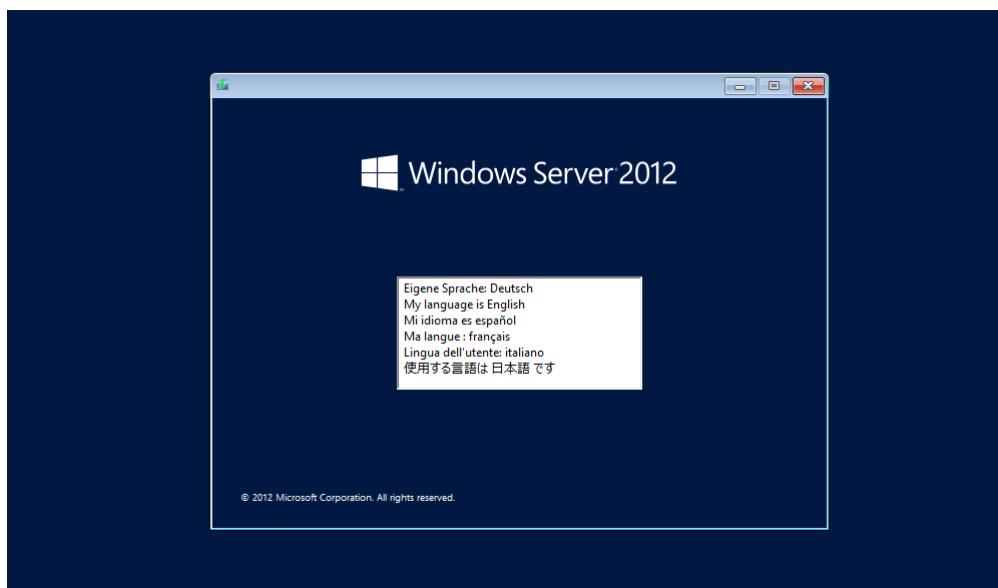
ハードディスクにアクティブ領域が設定されていると、画面に次のメッセージが表示されます。

Press any key to boot from CD or DVD

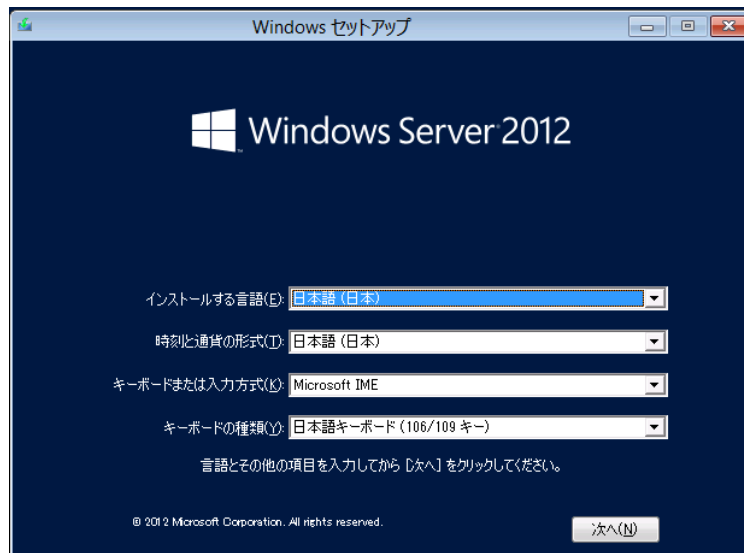
メッセージが表示されている間に何かキーを押すことで、DVD-ROM からブートします。

2 Windows Server 2012 インストールのセットアップ画面が表示されます。

Windows Server 2012 / 2012 R2 の場合は、セットアップ画面の前に、次のような言語選択画面が表示されます。使用する言語は日本語です。



セットアップ画面に従って各項目を設定した後 [次へ] をクリックします。その後、セットアップ画面に従って、インストール作業を続行します。

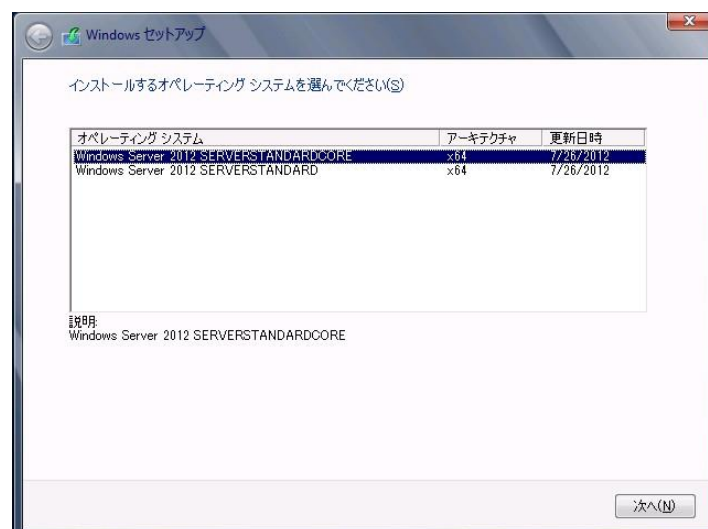


[注] Bit Locker を使用する場合は、インストール時に指定のパーティション構成をする必要があります。
詳しくは、次の当社 HP より「Windows サポート & サービス」→「Windows Server® 2012 動作確認情報」の順にクリックし、『PRIMERGY における BitLocker™ Drive Encryption の注意事項』をご覧ください。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/>

3 インストールするOperating System を選択します。

次の画面から「ServerCore」と表記されるものを選択します。



4 条項を確認します。

次の画面が表示されたら内容をよく読んだうえで、[条項に同意します]にチェックをつけて、[次へ]をクリックします。



5 インストール先を選択します。

インストール先のドライブによって手順が異なります。

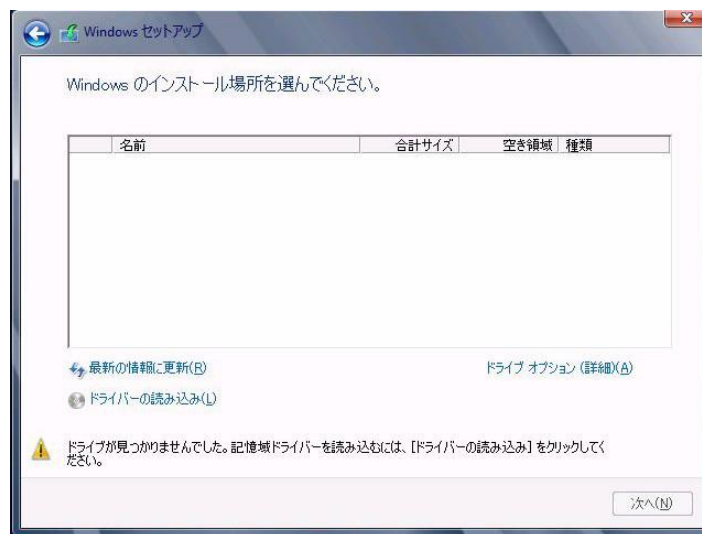
※掲載の画像は一例です。お使いの装置によって異なる場合があります。

画面の指示に従って、操作ください。

- ・ [オンボードソフトウェア RAID \(Embedded MegaRAID\) 使用時 \(P.38\)](#)
- ・ [アレイ未構成使用時 \(P.39\)](#)

オンボードソフトウェアRAID(Embedded MegaRAID) 使用時

- ① 次の画面で、ドライバ媒体をセットします。「ドライバーの読み込み」をクリックし、インストールドライバの入っているフォルダを選択します。



- ② 対象のドライバが表示されますので選択します。
- ③ [次へ]をクリックし、ドライバをインストールします。
- ④ インストール可能なドライブが表示されますので、ドライブを選んで、[手順6 OS をインストールします。\(P.40\)](#)へ進みます。

アレイ未構成使用時

ドライバのインストールは不要です。インストール先を選択して、[次へ]を押下し、[手順6 OSをインストールします。\(P.40\)](#)へ進みます。



6 OSをインストールします。

セットアッププログラムの指示に従って、インストール作業を続行します。

インストール途中、ドライバが Windows との互換性を検証する Windows ログテストに合格していない旨 のメッセージが表示された場合は、[はい]を選択してインストールを続行してください。

7 ドライバをインストールします。

以下の URL から最新のドライバをダウンロードして、そのドライバと同時にダウンロードされる手順書にしたがってドライバをインストールしてください。対象のドライバは「4.1.1 ドライバの用意」を参考にしてください。ドライバは随時更新されます。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>

8 必要な OS のホットフィックスをインストールします。

安定稼働のために、下記 URL の「Windows サポート & サービス」→「Windows Server 2012 (R2)動作確認情報」→「Windows Server 2012 (R2)対応状況」に必要なホットフィックスの情報を掲載しておりますので、ご覧になり、対応してください。なお、ホットフィックスの入手については、マイクロソフト のダウンロードセンターより入手していただくか、SupportDesk 契約を結んでいるお客様は、SupportDesk へお問い合わせください。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/>

これでインストールは終了です。その他のドライバのインストールについては各ドライバのマニュアルを参照してください。

■運用を開始する前に

OS インストール後は、各ツールのマニュアルおよびアレイコントローラのユーザズガイドをご覧になり、必要な設定を行ってください。

ServerView Agents/ServerView Operations Manager、ServerView RAID Manager を使用してサーバ監視/管理を行う場合は以下の Web サイトよりソフトウェアのダウンロードを行い、添付されているドキュメントに従ってインストール、設定を行ってください。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>

サーバ監視については以下の Web サイトをご参照ください。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/svs/>

第 5 章

Windows Server 2016 のインストール

5

手動で **Windows Server 2016** をインストールする手順を説明します。

5.1 インストール前の準備

5.2 インストール手順

[注] Windows Server 2016 の対応状況について
当社ホームページ (<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/>) に随時最新情報を掲載しておりますので、ご確認ください。

5.1 インストール前の準備

インストールを開始する前に必要な準備について説明します。

5.1.1 ドライバの用意

インストールに必要なドライバをあらかじめ用意します。

- ・ Web (<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>) からダウンロードしてドライバインストール用の媒体を作成してください。
- ・ ハードウェアの構成及び OS により必要なドライバが異なります。ご使用の構成をご確認のうえ、ドライバをご用意ください。

| 対象デバイス | ドライバ |
|--------------------------------------|--|
| オンボード LAN / LAN カード | Onboard/PY-LAxxx LAN Driver & Intel ® PROSet |
| オンボードソフトウェア RAID (Embedded MegaRAID) | ソフトウェア RAID Embedded MegaRAID WindowsDriver |
| 上記以外の拡張カード | 各拡張カードに対応したドライバ |

※ドライバは随時更新されます。

5.1.2 アレイの構成

アレイ構成で運用を行う場合は、OS をインストールする前に、アレイを構成してください。
使用するアレイコントローラにより、作成方法が異なります。アレイの構成については次のマニュアルをご覧ください。

オンボードソフトウェアRAID (Embedded MegaRAID) をご使用の場合

『Embedded MegaRAID ユーザーズガイド』(マニュアルサーバ(<http://manuals.ts.fujitsu.com/index.php>)の x86 Servers - Expansion Cards – Strage Adapters – LAI SAS / SATA RAID Controllers を参照してください)の「第 2 章 BIOS Utility (LSI Software RAID Setup Utility)」をご覧ください。

5.1.3 内蔵オプションの取り付け

OS インストールの前に、内蔵オプションを取り付けます。内蔵オプションの取り付け方法については、各機種の内『アップグレード&メンテナンスマニュアル』(マニュアルサーバ(<http://manuals.ts.fujitsu.com/index.php>)の x86 Servers - PRIMERGY Servers のメニューから該当装置を選択)をご覧ください。



OS をインストールするサーバに、次の内蔵／外付けオプション装置がすでに取り付けられている場合は、次の「■OS インストール前の留意事項」を必ずご確認ください。留意事項を確認せずに OS をインストールすると、誤った媒体に OS がインストールされる場合がありますので、ご注意ください。

- ・内蔵データカートリッジドライブユニット

■OS インストール前の留意事項

- ・ UEFI モードをご使用の場合

インストール前に BIOS 設定の変更が必要となります。設定方法やサポート状況に関しては、下記リンクをご参照ください。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/>

- ・ 内蔵データカートリッジドライブユニットをご使用の場合

インストール前に必ずデータカートリッジドライブの接続ケーブルを本体よりはずしてください。インストール完了後接続ケーブルを再度接続し、ご使用ください。

- ・ SATA ハードディスクをご使用の場合

オンボード SATA コントローラに 2 本以上の SATA ハードディスクを接続し、アレイ構成をしないで OS インストールする場合には、OS インストールに使用しない SATA ハードディスクは本体よりはずしてください。インストール完了後再度取り付けて、ご使用ください。

5.2 インストール手順

Windows Server 2016 の手動インストール手順について説明します。



- ◆ アレイコントローラとしてオンボードソフトウェア RAID (Embedded MegaRAID) と内蔵 DVD-ROM ドライブを使用して OS の手動インストールを行う場合、ドライブの読み込みのために、USB 接続 DVD-ROM ドライブまたは USB メモリが必要です。

■用意するもの

Windows Server 2016 のDVD (インストールディスク)

- あらかじめ用意したドライブを記録した媒体

1 Windows Server 2016 のDVD-ROM を準備します。

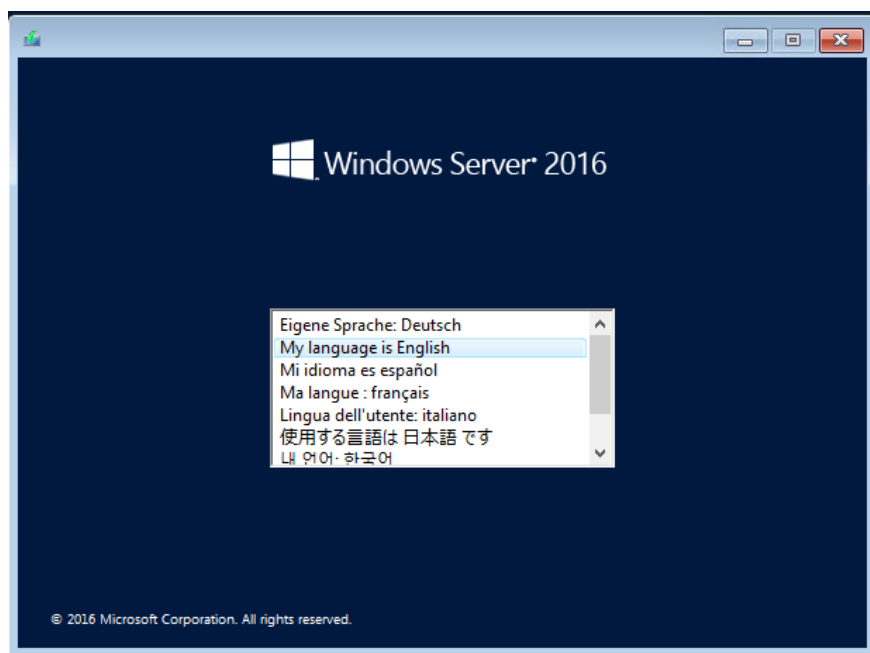
サーバの電源を入れた直後に Windows Server 2016 のDVD-ROM をDVD ドライブにセットします。ハードディスクにアクティブ領域が設定されていると、画面に次のメッセージが表示されます。

Press any key to boot from CD or DVD

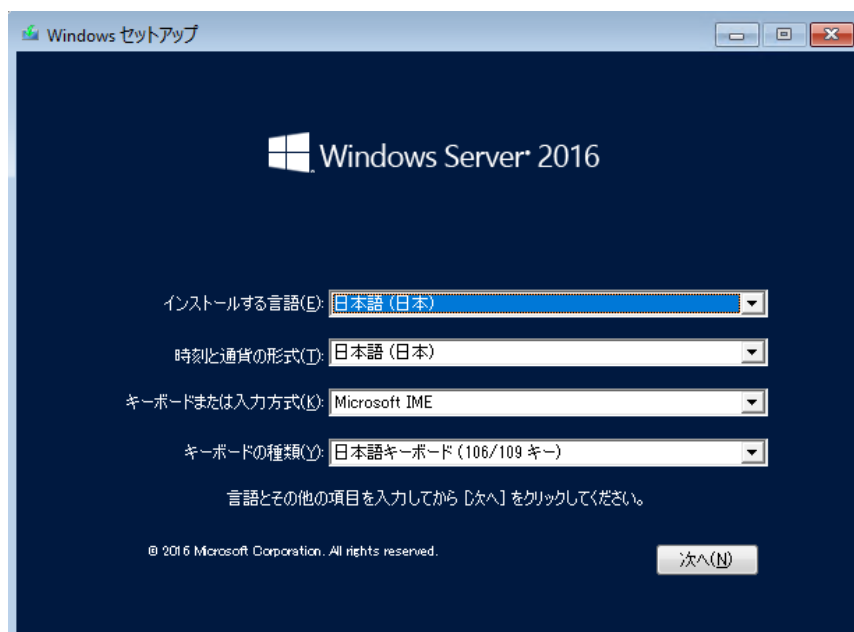
メッセージが表示されている間に何かキーを押すことで、DVD-ROM からブートします。

2 Windows Server 2016 インストールのセットアップ画面が表示されます。

Windows Server 2016 の場合は、セットアップ画面の前に、次のような言語選択画面が表示されます。使用する言語は日本語です。



セットアップ画面に従って各項目を設定した後「次へ」をクリックします。その後、セットアップ画面に従って、インストール作業を続行します。

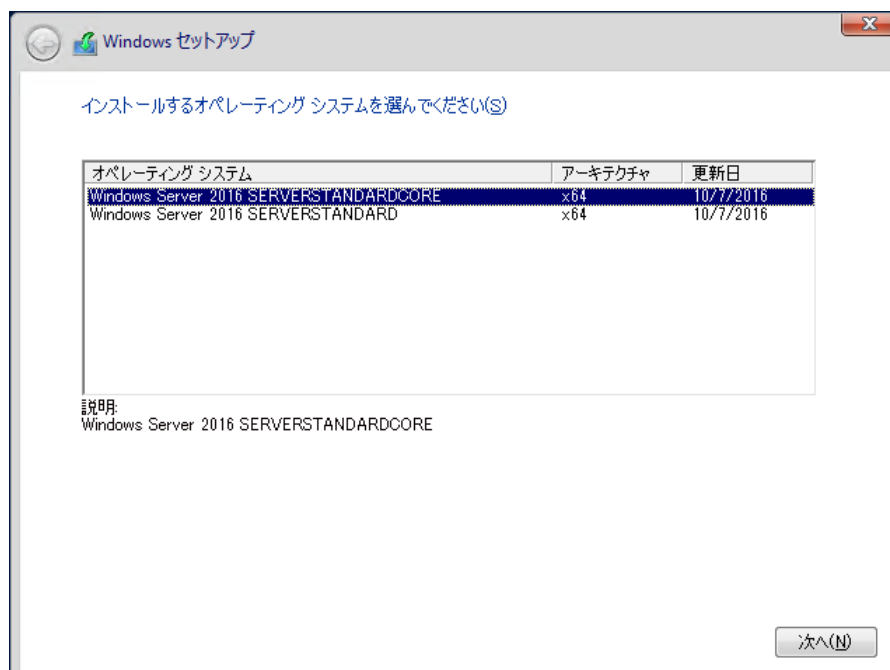


[注] Bit Locker を使用する場合は、インストール時に指定のパーティション構成をする必要があります。
詳しくは、次の当社ホームページより「Windows サポート & サービス」→「Windows Server® 2016 動作確認情報」の順にクリックし、『PRIMERGY における BitLocker™ Drive Encryption の注意事項』をご覧ください。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/>

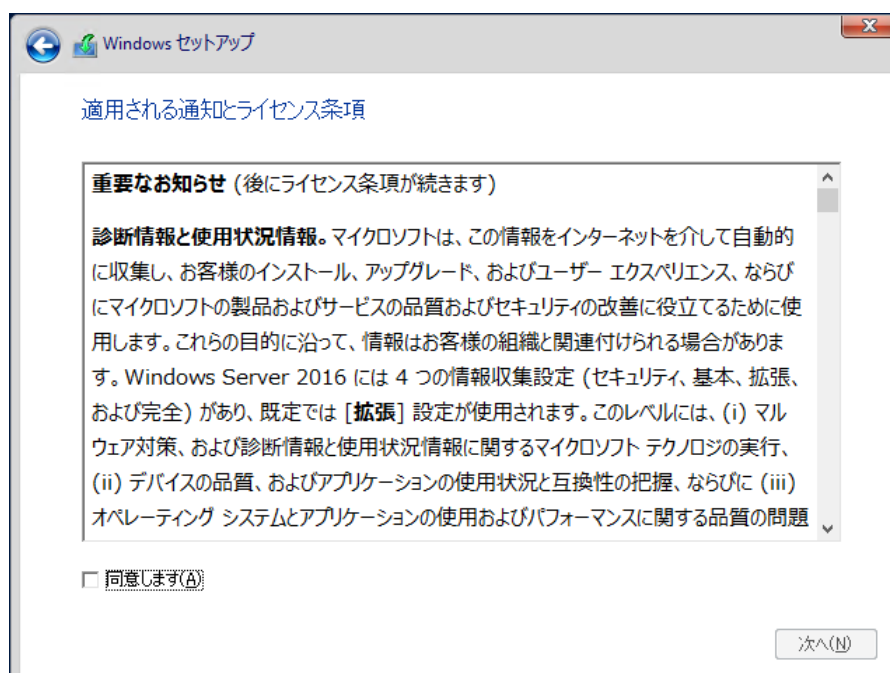
3 インストールするOperating Systemを選択します。

次の画面から「ServerCore」でないものを選択します。



4 条項を確認します。

次の画面が表示されたら内容をよく読んだうえで、[条項に同意します]にチェックをつけて、[次へ]をクリックします。



5 インストール先を選択します。

インストール先のドライブによって手順が異なります。

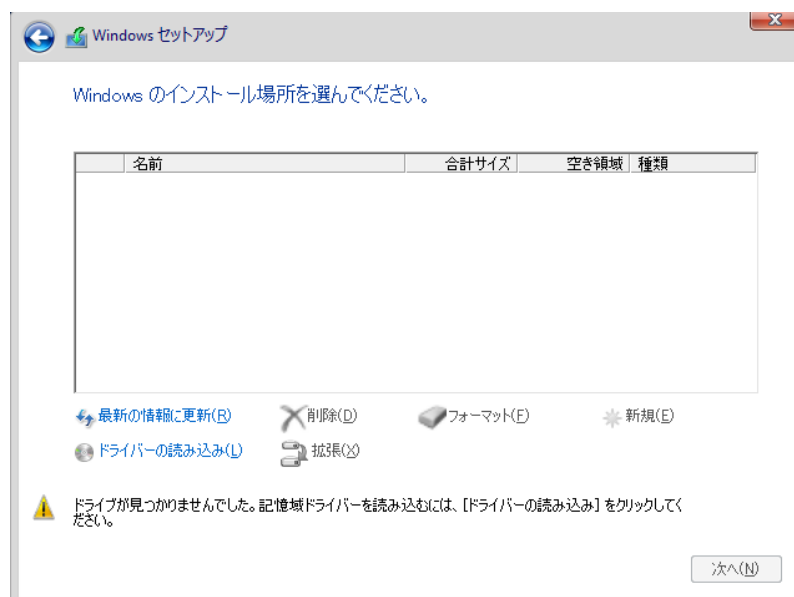
※掲載の画像は一例です。お使いの装置によって異なる場合があります。

画面の指示に従って、操作ください。

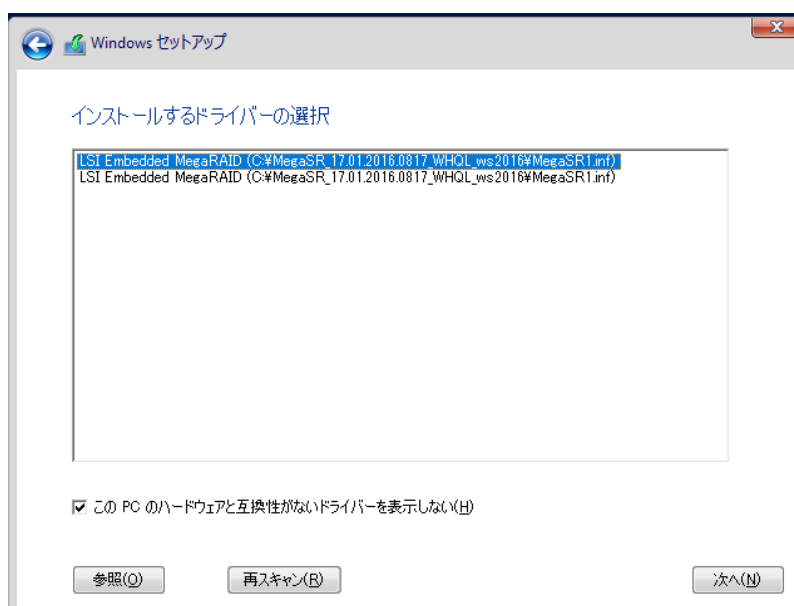
- ・ [オンボードソフトウェア RAID \(Embedded MegaRAID\) 使用時 \(P.47\)](#)
- ・ [アレイ未構成使用時\(P.48\)](#)

オンボードソフトウェアRAID (Embedded MegaRAID) 使用時

- ① 次の画面で、ドライバ媒体をセットします。「ドライバーの読み込み」をクリックし、インストールドライバの入っているフォルダを選択します。



- ② 対象のドライバが表示されますので選択します。



- ③ [次へ]をクリックし、ドライバをインストールします。
- ④ インストール可能なドライバが表示されますので、ドライバを選んで、[手順 6 OS をインストールします\(P.49\)](#)へ進みます。

アレイ未構成使用時

ドライバのインストールは不要です。インストール先を選択して、[次へ]を押下し、[手順 6 OS をインストールします \(P.49\)](#)へ進みます。



6 OSをインストールします。

セットアッププログラムの指示に従って、インストール作業を続行します。

インストール途中、ドライバが Windows との互換性を検証する Windows ログテストに合格していない旨のメッセージが表示された場合は、[はい]を選択してインストールを続行してください。

7 ドライバをインストールします。

以下の URL から最新のドライバをダウンロードして、そのドライバと同時にダウンロードされる手順書にしたがってドライバをインストールしてください。対象のドライバは「3.1.1 ドライバの用意」を参考にしてください。ドライバは随時更新されます。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>

8 必要な OS のホットフィックスをインストールします。

安定稼働のために、下記 URL の「Windows サポート & サービス」→「Windows Server 2016 動作確認情報」→「Windows Server 2016 対応状況」に必要なホットフィックスの情報を掲載しておりますので、ご覧になり、対応してください。なお、ホットフィックスの入手については、マイクロソフト のダウンロードセンターより入手していただくか、SupportDesk 契約を結んでいるお客様は、SupportDesk へお問い合わせください。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/>

これでインストールは終了です。その他のドライバのインストールについては各ドライバのマニュアルを参照してください。

■運用を開始する前に

OS インストール後は、各ツールのマニュアルおよびアレイコントローラのユーザズガイドをご覧になり、必要な設定を行ってください。

ServerView Agents/ServerView Operations Manager、ServerView RAID Manager を使用してサーバ監視/管理を行う場合は以下の Web サイトよりソフトウェアのダウンロードを行い、添付されているドキュメントに従ってインストール、設定を行ってください。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>

サーバ監視については以下の Web サイトをご参照ください。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/svs/>

第 6 章

Windows Server 2016 Server core のインストール

6

手動で **Windows Server 2016 Server Core** をインストールする手順を説明します。

6.1 インストール前の準備

6.2 インストール手順

[注] Windows Server 2016 の対応状況について
当社ホームページ (<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/>) に随時最新情報を掲載しておりますので、ご確認ください。

6.1 インストール前の準備

インストールを開始する前に必要な準備について説明します。

6.1.1 ドライバの用意

インストールに必要なドライバをあらかじめ用意します。

- ・ Web (<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>) からダウンロードしてドライバインストール用の媒体を作成してください。
- ・ ハードウェアの構成及び OS により必要なドライバが異なります。ご使用の構成をご確認のうえ、ドライバをご用意ください。

| 対象デバイス | ドライバ |
|--------------------------------------|--|
| オンボード LAN / LAN カード | Onboard/PY-LAxxx LAN Driver & Intel® PROSet |
| オンボードソフトウェア RAID (Embedded MegaRAID) | ソフトウェア RAID Embedded MegaRAID Windows Driver |
| 上記以外の拡張カード | 各拡張カードに対応したドライバ |

※ドライバは随時更新されます。

6.1.2 アレイの構成

アレイ構成で運用を行う場合は、OS をインストールする前に、アレイを構成してください。
使用するアレイコントローラにより、作成方法が異なります。アレイの構成については次のマニュアルをご覧ください。

オンボードソフトウェア RAID (Embedded MegaRAID) をご使用の場合

『Embedded MegaRAID ユーザーズガイド』(マニュアルサーバ(<http://manuals.ts.fujitsu.com/index.php>)の x86 Servers - Expansion Cards - Strage Adapters - LAI SAS / SATA RAID Controllers を参照してください)の「第 2 章 BIOS Utility (LSI Software RAID Setup Utility)」をご覧ください。

6.1.3 内蔵オプションの取り付け

OS インストールの前に、内蔵オプションを取り付けます。内蔵オプションの取り付け方法については、各機種の内『アップグレード & メンテナンスマニュアル』(マニュアルサーバ(<http://manuals.ts.fujitsu.com/index.php>)の x86 Servers - PRIMERGY Servers のメニューから該当装置を選択)をご覧ください。



OS をインストールするサーバに、次の内蔵／外付けオプション装置がすでに取り付けられている場合は、次の「■OS インストール前の留意事項」を必ずご確認ください。留意事項を確認せずに OS をインストールすると、誤った媒体に OS がインストールされる場合がありますので、ご注意ください。

- ・内蔵データカートリッジドライブユニット

■OS インストール前の留意事項

- ・UEFI モードをご使用の場合

インストール前に BIOS 設定の変更が必要となります。設定方法やサポート状況に関しては、下記リンクをご参照ください。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/>

- ・内蔵データカートリッジドライブユニットをご使用の場合

インストール前に必ずデータカートリッジドライブの接続ケーブルを本体よりはずしてください。インストール完了後接続ケーブルを再度接続し、ご使用ください。

- ・SATA ハードディスクをご使用の場合

オンボード SATA コントローラに 2 本以上の SATA ハードディスクを接続し、アレイ構成をしないで OS をインストールする場合には、OS インストールに使用しない SATA ハードディスクは本体よりはずしてください。インストール完了後再度取り付けて、ご使用ください。

6.2 インストール手順

Windows Server 2016 Server Core の手動インストール手順について説明します。

重要

- ◆ アレイコントローラとしてオンボードソフトウェア RAID (Embedded MegaRAID) と内蔵 DVD-ROM ドライブを使用して OS の手動インストールを行う場合、ドライバの読み込みのために、USB 接続 DVD-ROM ドライブまたは USB メモリが必要です。

■用意するもの

Windows Server 2016 の DVD (インストールディスク)

- あらかじめ用意したドライバを記録した媒体

1 Windows Server 2016 を準備します。

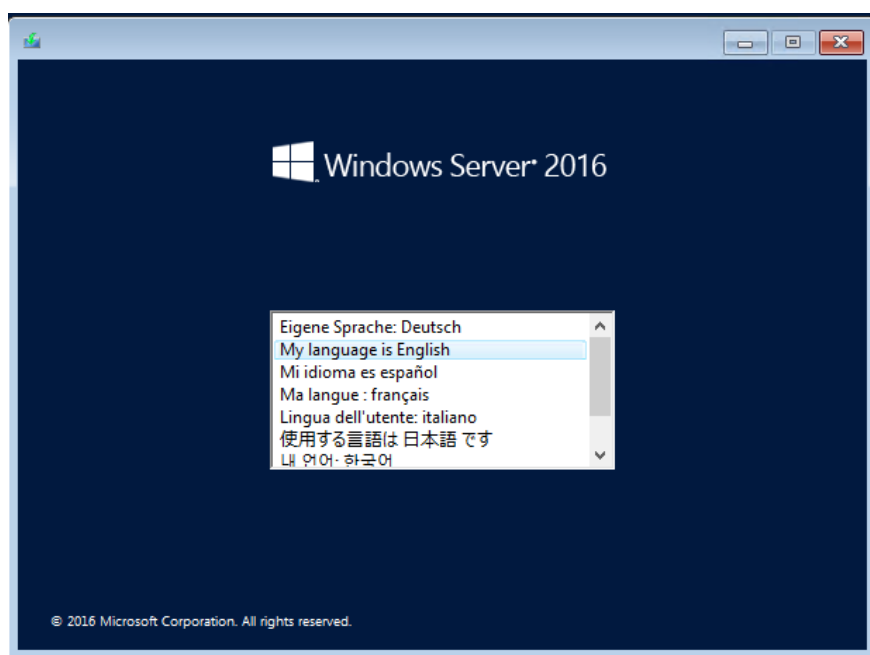
サーバの電源を入れた直後に Windows Server 2016 の DVD-ROM を DVD ドライブにセットします。ハードディスクにアクティブ領域が設定されていると、画面に次のメッセージが表示されます。

Press any key to boot from CD or DVD

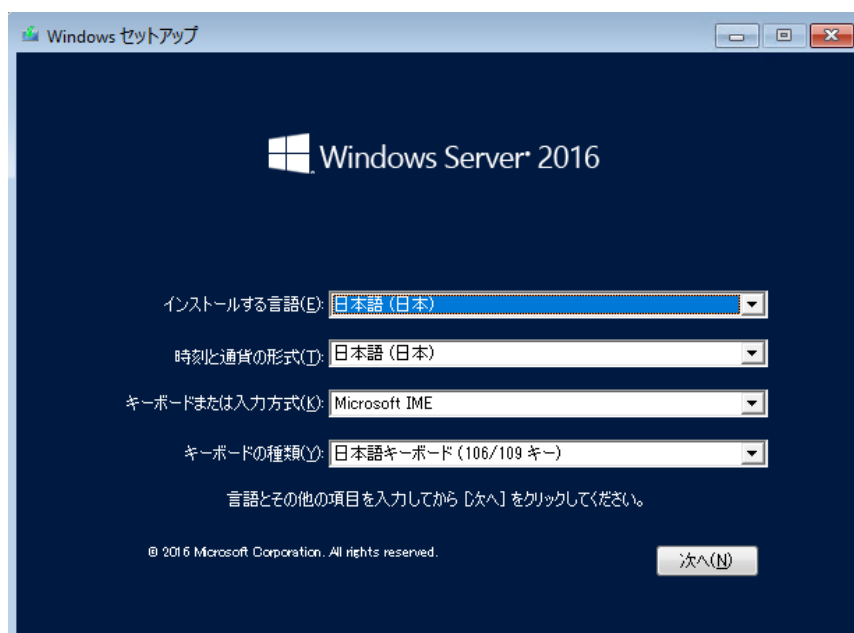
メッセージが表示されている間に何かキーを押すことで、DVD-ROM からブートします。

2 Windows Server 2016 インストールのセットアップ画面が表示されます。

Windows Server 2016 の場合は、セットアップ画面の前に、次のような言語選択画面が表示されます。使用する言語は日本語です。



セットアップ画面に従って各項目を設定した後、[次へ]をクリックします。その後、セットアップ画面に従って、インストール作業を続行します。

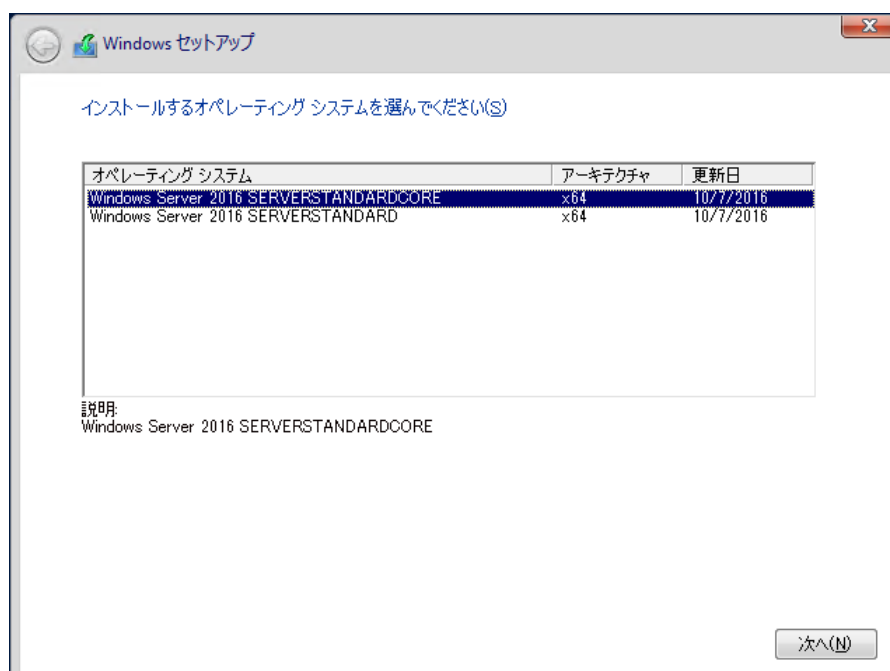


[注] Bit Locker を使用する場合は、インストール時に指定のパーティション構成をする必要があります。
 詳しくは、次の当社ホームページより「Windows サポート & サービス」→「Windows Server® 2016 動作確認情報」の順にクリックし、『PRIMERGY における BitLocker™ Drive Encryption の注意事項』をご覧ください。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/>

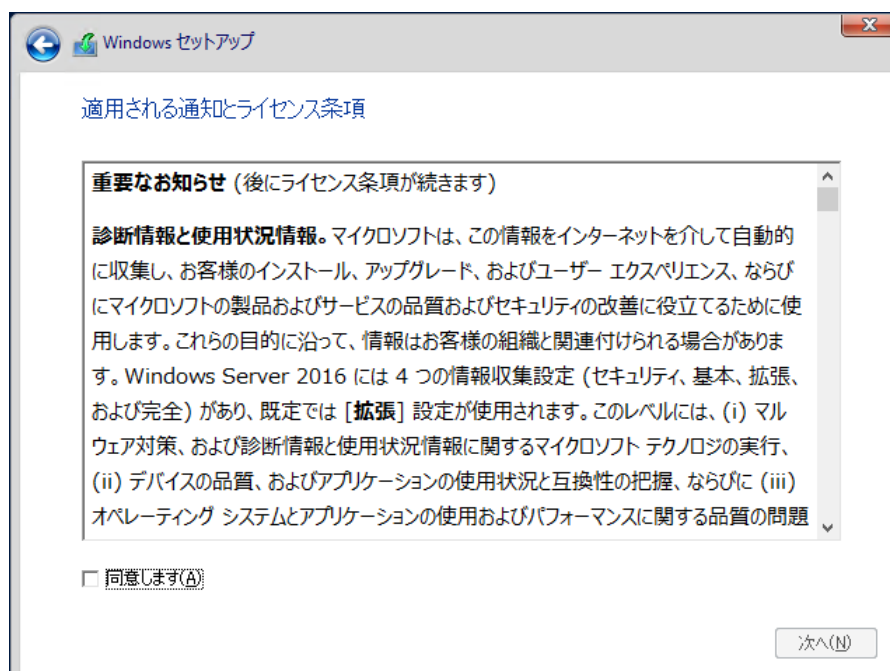
3 インストールするOperating System を選択します。

次の画面から「ServerCore」と表記されるものを選択します。



4 条項を確認します。

次の画面が表示されたら内容をよく読んで、[条項に同意します]にチェックをつけて、[次へ]をクリックします。



5 インストール先を選択します。

インストール先のドライブによって手順が異なります。

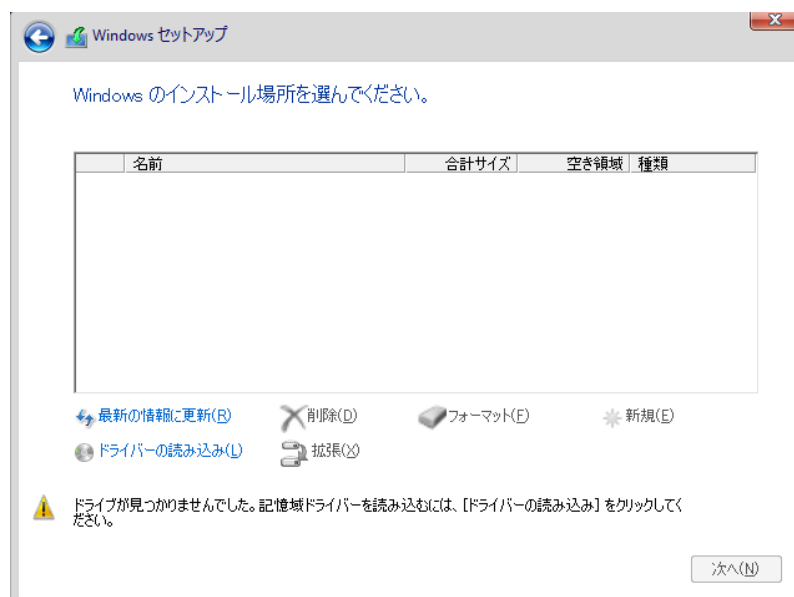
※掲載の画像は一例です。お使いの装置によって異なる場合があります。

画面の指示に従って、操作ください。

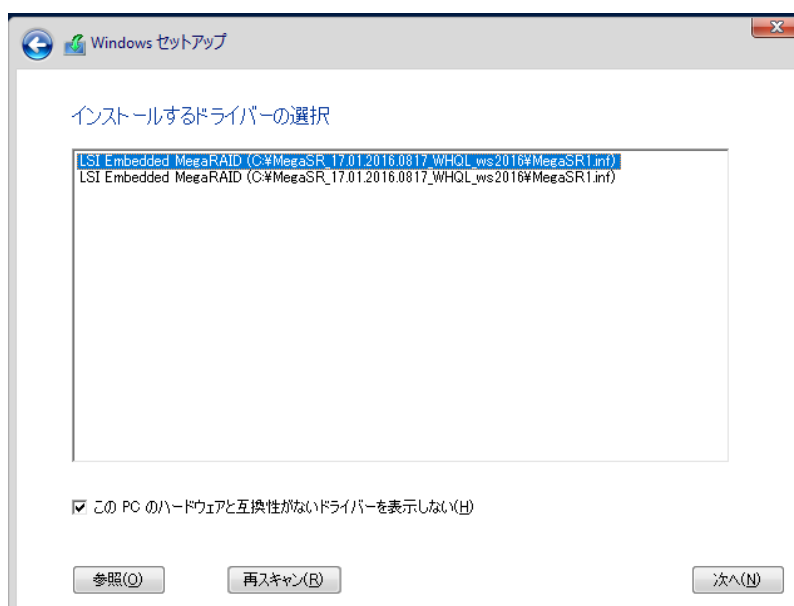
- ・ [オンボードソフトウェア RAID \(Embedded MegaRAID\) 使用時 \(P.56\)](#)
- ・ [アレイ未構成使用時 \(P.57\)](#)
- ・
- ・

オンボードソフトウェアRAID (Embedded MegaRAID) 使用時

- ① 次の画面で、ドライバ媒体をセットします。「ドライバーの読み込み」をクリックし、インストールドライバの入っているフォルダを選択します。



- ② 対象のドライバが表示されますので選択します。



- ③ [次へ]をクリックし、ドライバをインストールします。
- ④ インストール可能なドライブが表示されますので、ドライブを選んで、[手順 6 OS をインストールします\(P.58\)](#)へ進みます。

アレイ未構成使用時

ドライバのインストールは不要です。インストール先を選択して、[次へ]を押下し、[手順 6 OS をインストールします \(P.58\)](#) へ進みます。



6 OS をインストールします。

セットアッププログラムの指示に従って、インストール作業を続行します。

インストール途中、ドライバが Windows との互換性を検証する Windows ログテストに合格していない旨 のメッセージが表示された場合は、[はい]を選択してインストールを続行してください。

7 ドライバをインストールします。

以下の URL から最新のドライバをダウンロードして、そのドライバと同時にダウンロードされる手順書にしたがってドライバをインストールしてください。対象のドライバは「4.1.1 ドライバの用意」を参考にしてください。ドライバは随時更新されます。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>

8 必要な OS のホットフィックスをインストールします。

安定稼動のために、下記 URL の「Windows サポート & サービス」→「Windows Server 2016 動作確認情報」→「Windows Server 2016 対応状況」に必要なホットフィックスの情報を掲載しておりますので、ご覧になり、対応してください。なお、ホットフィックスの入手については、マイクロソフト のダウンロードセンターより入手していただくか、SupportDesk 契約を結んでいるお客様は、SupportDesk へお問い合わせください。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/>

これでインストールは終了です。その他のドライバのインストールについては各ドライバのマニュアルを参照してください。

■運用を開始する前に

OS インストール後は、各ツールのマニュアルおよびアレイコントローラのユーザーズガイドをご覧になり、必要な設定を行ってください。

ServerView Agents/ServerView Operations Manager、ServerView RAID Manager を使用してサーバ監視/管理を行う場合は以下の Web サイトよりソフトウェアのダウンロードを行い、添付されているドキュメントに従ってインストール、設定を行ってください。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>

サーバ監視については以下の Web サイトをご参照ください。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/svs/>

Windows OS の手動インストール
CA92344-0499-02
発行日 2017 年 2 月
発行責任 富士通株式会社

- ・ 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- ・ 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- ・ 無断転載を禁じます。